

西成区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

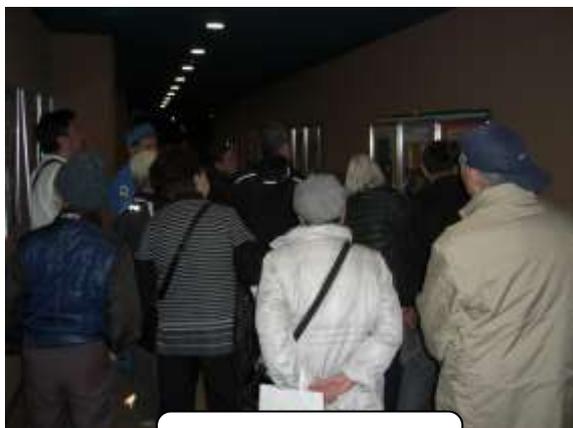
第2号

平成 27 年 5 月発行

平成 26 年度 実地研修(施設見学)を実施しました!

平成27年3月5日(木)に、平成26年度実地研修として施設見学会を実施しました。今年度は、大阪市内のごみが、どのように処理されているかを見ていただくため、環境局舞洲工場と北港処分地を見学しました。

正午前に、西成区役所前に 20 名の推進員の皆さんが集合され、バスに乗り込みました。まずは、舞洲工場へ。



舞洲工場にて



舞洲工場は、大阪市にある7つのごみ焼却工場の一つで、粗大ごみを処理する破碎設備も併設しています。

最初に舞洲工場の紹介ビデオを見てから、見学コースへ向かいました。見学コースは、子どもでも興味を持って見学できるように、壁を洞窟のように装飾したり、天井を星空にしたりと工夫されています。

ごみ収集車がごみを搬入してから焼却し、焼却灰が積み出される過程を、実際の設備を見ながら見学しました。

見学コースでは、クレーンでごみを焼却炉に投入する場所や、焼却灰を車両に積み込む設備、中央制御室の様子等を見ることができました。

参加者のみなさんはたいへん熱心に見学し、案内の職員に次々と質問され、工場の様子を写真におさめる方が何人もおられました。



続いて、ごみ焼却工場からでた焼却灰の処分場である、北港処分地へ。

北港処分地へは、大阪市内のごみ焼却工場から海上・陸上輸送によって、焼却灰が持ち込まれ、埋立に利用されています。参加者の皆さんは、風が強く寒い中でしたが、下車して説明を受けました。

北港処分地は、排水設備等を整備して環境に配慮しながら利用されています。北港処分地は、大阪市独自の貴重な処分場であり、市民や事業者、行政の協力でごみを減らすことにより、利用期間を延

ばすことができます。

その他、処分地内に設置されたメガソーラー（複数の民間事業者によって共同で設置され、電力会社に売電しているもの）も当日見ることができました。皆さん、ごみの問題だけではなく環境問題全般への関心が高く、たいへん熱心に見学されていました。

見学会にご参加いただきました皆さん、お忙しい中、また気候も寒い中ご参加いただき、ありがとうございました。

**市民の皆さんのご協力により、
ごみ減量が大きく進んでいます！**

平成25年度のごみ処理量は102万トンとなり、前年度と比較すると10万トンの減量、ごみ処理量がピークとなった平成3年度の217万トンと比較すると、約53%の減量となりました。

市民の皆さんに分別排出にご理解ご協力をいただき、平成26年度のごみ処理量は、前年度からさらに8万トンの減量となる94万トン程度となる見込みです。

**「ひかりの森」プロジェクト
のメガソーラー**



《編集・発行》

大阪市南部環境事業センター

大阪市西成区南津守5-5-26

TEL:06-6661-5450 FAX:06-6653-7849

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

